

玉升

景清

杜若

二人靜

安遠原

觀世流改訂稿本

內九

明治四十三年四月三十日印刷  
明治四十三年五月五日發行

訂正者、檢印  
ナキモ、ハ偽版也

東京市麴町區中六番町二十九番地

訂正兼  
發行者

丸 岡

桂

東京市下谷區二長町壹番地

印刷者 塚原 錦三郎

東京市下谷區二長町壹番地

印刷所 凸版印刷株式會社

東京市麴町區中六番町廿九番地

發行所 觀世流改訂本刊行會

電話番町二五四番



文學博士

井上頼国

本文監修

丸岡 柱

本文訂正

親世清定

節附訂正

脇能

玉井

李ナシ

前ツツ後ツツ  
キレキレ

豐玉依玉  
海天神  
彦火女出見命

ツヨク  
ワキサシ

天地開けたり。天神  
 七代地神。天代はまろ。火火出見尊  
 と我事なり。さてみろ。火  
 南降の命。針針を。あつそあなら  
 ら海邊は釣を垂れぬ。彼の釣針  
 と魚は。さるれぬ。汝由。兄尊は。

かゝる。管。の。針。を。取。り。て。使。ひ。ま。し。め  
向。針。を。く。り。つ。一。針。を。作。り。て。使。ひ。ま。し。め  
と。さ。ま。の。針。も。この。針。を。は。た。ら。さ。し。ま。さ  
海。中。を。入。り。彼。の。釣。針。を。尋。ね。お。こ。し。思  
ひ。立。ま。し。て。い。わ。な。ら。づ。み。た。し。ま。し。め  
知。る。ぬ。塩。土。男。は。箱。の。教。を。後。ひ。て。目  
無。籠。の。猛。ま。し。心。ま。ぐ。あ。る。道。を

行くゆくは跡遠くは隔て来て  
くぞ名はおの深海の都と知れ  
て水もあく。廣き真砂は志きは  
けりく。さてもわれ塩土男れ  
箱を教へは後ひ。わたづみけ教よ入  
りぬ。ぬは瑞瑤の瓦を敷けら衡門  
あり。門前よまけ井あり。井の井け

あつたまは銀色ギンシキ輝きカガヤせし常トコあまき。

又申スつれ柱カツラのまあり。まコの下モトよまき

寄ヨり。暫シく事コトれ由ユも窺ウカガをガと

思オモひハ真マコト声コエれハりハあハまマ熱ユメとトいハぶ

るル乃ノ多タけハ長ナガきキ回マりハ光ヒるルあハまマいハ

とトあハまマ業ノもモ手テぎギさサるルよヨ掬クぶブ

清スきキ水ミヅあハるル濁ナつツあハまマ心ココロ付ツ水ミヅ





隠カクレつタダズ佇ヒトみたりニテ女メ泊トありとたよ白

露ツキの玉タマに釣ツケ瓶ビンを沈シヅめんと玉タマに井イ

よきち寄ヨシり底ソコと見ミれぞ柱ハシの本ネ蔭カゲ

よカレ人ヒト見ミえたりヨクこコれヨクあアるヨク人ヒトもモらラん

君キミがカレ女メもモ顯アりヨクてヨクあアるヨクなナらラぬヨク

りリなナらラぬヨクあアるヨクなナらラぬヨクあアるヨクなナらラぬヨク

あアるヨクなナらラぬヨクあアるヨクなナらラぬヨクあアるヨクなナらラぬヨク

深き淵に身を沈めしむるは、  
人の心も、氣も、形も、  
強よ、又、や、び、や、あ  
る、顔、の、色、も、形、も、  
強、よ、又、や、び、や、あ  
り、人、あ、ら、ま、も、見、奉、  
る、所、名、を、な、れ  
り、あ、ら、ま、を、  
今、行、ふ、包、さ、り

ま、あ、れ、天、孫、地、神、  
代、火、出、見、尊、  
と、あ、ら、ま、あ、り、あ、ら、  
あ、り、お、た、や、天、  
の、神、は、天、孫、の、尊、を、  
ま、あ、ら、ま、あ、り、  
たり。









